

『企業価値向上に資する知財』を実現するには、情勢を的確に分析し、知財戦略を策定し、それに基づき経営部門・開発部門をリードしていくことが求められます。本講座では具体的な進め方をわかりやすく解説します。

～プロアクティブな知財活動への移行を実現する～ 知財戦略の構築と社内推進の具体的方法

講師：上柳特許事務所 所長 弁理士 [元セイコーエプソン 知的財産本部長] 上柳 雅誉 氏

1975 年諏訪精工舎（現セイコーエプソン株式会社）入社以来、知財業務を担当。当初 10 年間は幅広く知財実務を担当。次の 10 年間はライセンス業務(交渉・訴訟・契約等)に専念。95 年に部長（その後本部長）となり退職までの 19 年間知財トップとして全社の知財マネジメント(全社知財戦略の立案・推進等)を担当。また 2000 年に役員となり業務執行役員、常務取締役等を歴任し全社経営を担当。2014 年退職後、上柳特許事務所を開設。知財戦略、ライセンス交渉等に関する講演、コンサルを主として活動中。

- 日程 2024 年 10 月 3 日（木） 13：00～17：00
- 会場 東京都内中心部 ※講座終了後、個別質疑・名刺交換の場を設けます ※※配信のみの受講も OK です。
- 受講料 36,300 円（税込／テキスト含）※8/3（土）までにお申込の場合、29,040 円（2 割引）となります

I. 企業における知財の役割の変化

1. 研究開発と知財
2. 何故か経営の中心から遠い知財活動
3. 結果としての知財活動から起点としての知財活動へ
4. 企業における知財の役割の変化
5. コーポレートガバナンスコードの変更
6. プロアクティブな知財活動の求め

II. プロアクティブな知財活動の要件 1【道筋の明確化】

1. 知財による企業価値の向上に向けた道筋の明確化
2. 企業における知財戦略の位置づけと種別ならびに構築方法
 - 1) 経営戦略と全社知財戦略
 - 2) 事業(商品)戦略と個別知財戦略
3. プロアクティブな知財活動のための情勢分析
 - 1) 潮流の先読みと知財戦略
 - 2) リスクの先読みと備え
 - 3) 情報分析 (IP ランドスケープ等)
 - 4) SDGs、ESG、脱炭素等
4. プロアクティブ知財活動の事例
 - 1) 部品・材料事業で勝つ知財戦略
 - 2) 後発で勝つ知財戦略
 - 3) プロダクトライフサイクルを先取りした知財戦略
 - 4) 知財ミックス戦略
 - 5) ビジネスモデルと知財の融合（オープン＆クローズ戦略）

《習得できること》

- プロアクティブ知財活動の内容
- プロアクティブな知財活動を行うための知財戦略の構築法
- プロアクティブ知財活動の実践、社内推進の留意点
- コーポレートガバナンスコードの変更と対応

《プロアクティブな知財活動とは》

自社の将来像や種々の環境変化を可能な限り先取りし、知財がどのように企業の持続的な成長や企業価値の向上に貢献するか道筋を明らかにしたうえで、知財部門が中心となって全社を巻き込む取り組みです。

III. プロアクティブな知財活動の要件 2【推進体制のプロアクティブ化】

1. プロアクティブな知財推進
2. 発明現場でのプロアクティブ知財活動
3. 経営層に対するプロアクティブ知財活動
4. 全社を動かすプロアクティブ知財活動

IV. 知財部門内のプロアクティブ化

1. リアクティブからプロアクティブへの意識改革
2. スキル重視の職人集団からの脱却
3. 知財スタッフに求められる能力の変化
 - ・組織を動かすスキル
 - ・外部専門家を使いこなすスキル
 - ・契約マネジメント力の強化等
4. 知財部門の役割の再定義

IV. まとめ

- ・コーポレートガバナンスコードの変更への対応

《講義概要》

近年、知財を経営レベルで活用することが求められています。それに応えるには、プロアクティブな知財活動が必要です。

本講座では、目の前の権利化・他社対応に終始する知財活動からプロアクティブな知財活動に移行できるよう、必要となる知財戦略の構築方法や知財が全社をリードする推進方法をわかりやすく解説します。更にできるだけ個別の状況に対応できるように、各企業、各事業の事業環境、事業形態や知財環境をふまえた具体的な対応についても言及します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2024/10/3 知財戦略の構築と社内推進の具体的方法	<input type="checkbox"/> 対面受講 <input type="checkbox"/> オンライン受講
会社名※		
所在地※ (請求書等の送付先)	〒	
参加者①	氏名※	TEL※
	所属※	FAX
		役職
	Email※	@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)	
参加者②	氏名※	TEL※
	所属※	FAX
		役職
	Email※	@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)	
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (紙請求書) <input type="checkbox"/> 銀行振込 (PDF 請求書) <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
備考※		

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先: entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店 (909)
口座番号	(普) 0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン (http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		